

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	学校法人 七松学園 ななつまつトレイン（保育所等訪問支援）		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 17日		～ 2025年 1月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2025年 1月 17日		～ 2025年 1月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○訪問先施設評価実施期間	2025年 1月 17日		～ 2025年 1月 27日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	認定こども園内に事業所があるため、普段から園にいる職員が訪問することができるので、訪問先の子ども達も違和感なく職員を受け入れることができる。	普段から、認定こども園の職員とコミュニケーションを取るようになっている。	訪問後にフィードバックする際には、端的に必要な事が伝えられるように工夫する。
2	開所1年目だが、児童発達責任者のリーダーシップのもと、子ども達の成長に向けて職員が蜜に連携して活動を行っている。保育所等訪問支援には週に1回勤務の職員もいるが、職員控室でコミュニケーションを取る事ができている。	子どもの成長や、活動で感じた事、気づいたことなどを活動後に気軽に話し合える雰囲気を作っている。	保育所等訪問支援の記録等も更に共有して普段の活動に活かしていきたい。
3	認定こども園での子どもの様子を直接見たり、保育者から話を聞き、その子の強みを伸ばしたり、フォローしたりと個別指導の場で活かすことができる。	訪問支援と、個別指導の指導員が違っても記録やカンファレンスから一人一人について理解を深めて活動することができている。	集団、個別でどのような手立てが考えられるかを個別の指導計画を見直す際には更新していき、園の先生にも伝えられる様にする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団の中の指導と、個別での指導との違いについて分かりやすく伝える必要がある。	話し合いの中で、一人一人の個性について伝える割合が多かったのではないと思われる。	集団の中で個性を受け止めながら保育を進めていくにはどのような手立てがあるかという点にも焦点をあてて伝えられるようにしていきたい。
2	子ども一人一人への伝える情報が、多くなりすぎないようにする。	個別での活動で見えてきた点を沢山伝えすぎると、全てを取り入れなくては先生方に負担をかけてしまう。	集団の中で取り入れやすい手立てを端的に伝える様にする。
3	利用する子どもの増加や保育所等訪問支援の開始によって、業務量が増えているので改善が必要。	活動の時間帯には職員数を確保しているが、記録や連絡帳を記入する際には、時間により職員数が減ってしまう。	以前はPCが1台とタブレット2台だったため、記録の記入ができない職員がいたが、PCを1台増やしたことにより、少し改善されている。手書きの業務についても順次ICT化を進めて効率よく事務仕事ができるようにしたい。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 学校法人 七松学園 ななつまつトレイン (保育所等訪問支援)

公表日 2025年 2月 10日

利用児童数

4名 2025年 1月 28日 回収数 4

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。				4		訪問支援については、保護者の方に事業所に来ていただくずに行っているため、分かりにくいと思いますが、必要な物は整えております。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	4					
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	4					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	3		1			訪問日時について、前もって保護者の方にお伝えする様に改善します。
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	3			1		保育所等訪問支援の職員についてもお知らせしたいと思います。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3	1				支援の内容について、分かりやすく保護者の方にもお伝えするように改善します。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	3			1		担任の先生の意向について、共有する様にします。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3			1		ガイドラインの内容については、訪問支援計画を説明する際にお伝えするようにします。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3			1		支援計画について、分かりやすく説明する様にいたします。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	4					
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3			1		支援の内容については、見直しの際により詳しく説明できるようにします。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。		1	1	2		家族支援プログラムについては、今後検討していきたいと思っています。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	4					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	2				支援計画の見直しの時期にこだわらず個別の相談にも応じることが出来ることについてお知らせしていきたいと思っています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3			1		直接お迎えに來られない保護者の方とのコミュニケーションについて見直しをしたいと思います。
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	1				来年度からは相談の時間枠を設定して、より利用していただきやすい様に変更します。
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3			1		アプリを通して毎日の活動等を報告しておりますが、相談の窓口等分かりやすく掲示するなどの工夫をしたいと思います。
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	2				2	訪問先施設の先生方との話し合いでの内容も支援計画に盛り込み、見直しの際に保護者の方へもお伝えするようにします。

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	3			1		支援を行った日に、カンファレンスの時間を持ってあります。保護者の方にも連絡帳でお伝えしておりますのでご覧いただけると幸いです。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	3	1				こちらからの発信のみになっておりますので、事前になる点や聞いて欲しい事などの聞き取りをアプリを通して行えたらと思います。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3			1		今回初めて自己評価アンケートを取らせていただきましたので、結果を掲載したいと思います。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	3			1		緊急時の避難訓練等について、一緒に行い、対応できるように実践しております。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4					
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	4					
	28	事業所の支援に満足していますか。	3	1				支援の内容や方法について分かりやすくお伝えする様に改善します。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		学校法人 七松学園 ななつまつトレイン (保育所等訪問支援)		公表日		2025年 2月 10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環 境 ・ 整 運 備 ・ 体	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	6		様々な教材が用意しており、子どもたちが興味を持ちやすい。また、教材の研究もそれぞれ職員の方が行っていることが感じられる。	開所後間もないので、教材等職員の私物を使っているものもあるので、これから必要な教材を研究し作成するなどして増やしていきたい。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2		職員増員の上、丁寧な観察が必要。 職員に余裕がない人数の配置であるように感じる。行える人数だと言われればそれまでだが、今の状態では気持ちの余裕もなく療育に当たらなければいけないように感じる。	
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	記録をはじめ、職員同士の子どもや子どもを取り巻く環境について情報共有を行っている。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	保護者の意思を汲み取りながら、こちらの支援の方向性や意図を伝える場として今回初めて評価表を使用した。	結果を踏まえて今後の改善に繋げていきたい。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		職員控室が開けた場で何でも話しやすい雰囲気があり、報告連絡相談を行いやすい雰囲気作りをしている。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		今後の課題である。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		非常勤の先生にも研修を受けていただけるように、Zoomなどの研修も積極的に取り入れている。	様々な分野の研修を取り入れて知見を広げていけるようにする。	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	6				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1		ケース会議等を通して、ニーズ整理をして支援計画に活かしていきたい。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	6				
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			出来るだけできているとは思いますが、人数に余裕がなく関わっている全員で必ず行えているかと言われれば出来ていないと思う。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6				
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	6				
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	6					

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1		相談支援専門員は電話で子どもの様子を問い合わせるだけのことが多く、子どもの実際の姿をどこまで把握しているのか疑問に感じることがある。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	保育とは連携している。他の機関との連携は、こちらからは、連絡があった時に対応している。	関係者会議を必要であれば開いていきたい。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		まだ、その機会を要していないので今後必要に応じて行っていきたい。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5	1		尼崎市障害児通所支援事業所 ネットワーク会議には積極的に参加しているので、これからも継続していきたい。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2		必要な情報提供は行っているが十分ではないかもしれない。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	6			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	6			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4	1		計画の見直しの際には懇談の機会をもうけている。普段は保護者からの依頼やこちらから必要とする際に行っている。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	3		今後の課題である。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		保護者から希望があった時、事業所が必要と考えた時に行っている。	
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		活動「参加された時に、自然な形でやっている。		
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6				
訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	6			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	6			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	6			

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	6			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		幼稚園の訓練の際の一緒に行っている。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1		ケース会議でヒヤリハットについて取り入れていく。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	2	身体拘束が必要な利用者がいない。	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2025年 2月 10日

学校法人 七松学園 ななつまつトレイン（保育所等訪問支援）

利用児童数4名

2025年 1月 28日

回収数 4

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3	1		<p>①今までの助言は全て取り入れてやってみるが、大勢の子どもたちを保育していく上で、そのやり方及び対応を継続していくことが困難な場面がある。</p> <p>②そのクラスでの様子で課題が見られた場合、その子の課題点をトレインの個別指導計画、療育の中でどのように取り入れて支援へと繋げているのかを教えてくださいと、連携し合えてると感じると思う。</p> <p>③取り入れやすいもののご助言をいただきますが、一人担任で手が回らないこともあり、実践できないこともあります。その子どもに対しての関わり方、援助や特徴を教えてくださいと、とても助かる。</p> <p>④ただ1対1での援助の助言のみの場合、クラスの子ども達を保育しながらの対応が難しいので、今後もその都度クラスを保育しながらどう援助するべきか相談できると良い。</p>	<p>①③④集団、個別と保育の方法が違うので、個にばかり焦点を当てるのが難しいと言う点についてはその通りだと思います。集団の中でのかわり方について一緒に考えていけるように意見交換ができればと思います。また、担任の先生が一人で沢山の子どもを見る際に個に配慮しつつどのように保育を進めていくのか、一緒に考えていけたらと思います。</p> <p>②クラスでの様子についてもお聞きし、個別の支援計画の中でも取り入れていきたいと思っています。保護者、担任、支援者が連携し、より良い支援につながる様に努力していきたいです。</p>
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3	1		<p>①自分にはないやり方などを教えていただき、自分の保育の幅が広がる。</p> <p>②様々な方法での援助を教えていただけるので助かります。</p>	<p>①②クラスでも取り入れられそうなことを実践していただきありがとうございます。</p>
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	4			<p>①質問に対して、一緒に考えてくださるので嬉しい。</p> <p>②いつもありがとうございます。</p>	<p>①②園の中に担任以外に子ども達の事をよく見ている人が沢山おり、子どものより良い成長について一緒に考えていける事はとても貴重だと考えています。これからも一緒に考えていけたらと思います。</p>

4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3		1	<p>①毎回助言をいただき、全て取り入れていくよう意識して努めているので、こちらの負担が増えているのは正直ある。</p> <p>②助言通りに出来ること、出来ないことがあるが、違う方法を導き出すヒントになったりするので、課題は軽減している。</p> <p>③その子どもの成長がどんどん目に見える事が増えうれしく思います。担任で補えないところなど、手厚くサポートしてくださっているので4月に比べると悩みなどは軽減したように感じます。</p>	<p>①②こちらが提案したことを取り入れてくださりありがとうございます。クラスで保育を進めていく中で、できる事、できない事が出てくると思いますので、先生のご判断で取捨選択していただき、先生と子ども達とのより良い関係ができれば一番良いと思います。先生方がお持ちの引き出しの中の一つと考えていただけたらと思います。</p> <p>③普段の先生方の保育と個別の支援との連携が子ども達の成長に繋がっていると思いますので、これから普段の様子を見させていただきながら、個別での支援も充実したものにできればと思います。</p>
5	事業所からの支援に満足していますか。	2	2		<p>①よくわからない。</p> <p>②今は2人担任の為、助言通りにできることが多いが1人担任になると出来るが減るのではないかと不安は感じる。</p>	<p>①②集団、個別での子どもの見方の違いについて支援員の方も認識し、一人一人の子どもの未来を考えていけるような援助の方法について提案ができるようにしていきたいと思っています。</p>
<p>その他のご意見</p>				<p>ご意見を踏まえた対応</p>		
<p>特になし</p>				<p>お忙し中、沢山のご意見をいただきありがとうございました。</p> <p>保育所等訪問支援が始まり、半年の時点でこのような貴重なご意見をいただき、支援の方法を見直すきっかけを作っていただけました。</p> <p>いただいたご意見を職員で共有して、今後のトレインでの活動や保育所等訪問支援に活かしていきたいと思っています。ありがとうございました。</p>		